

6月1日、平成21年第5回市議会定例会が開会しました。

はじめに、「対話と共感」のまちづくりを進め、「小さな世界都市」を目指す第2期市政の所信を述べた後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものについて説明をしました。

その概要をお知らせします。

安全に安心して暮らせるまち

○新型インフルエンザ対策

引き続き警戒に当たり、今後、毒性の強い新型インフルエンザが発生した場合の対応を検討し、備えを強化していきます。

今回の騒動で、風評被害対策も大きな課題として残りました。患者の発生が報じられた地域では、地域経済が大きな打撃を受け、修学旅行先で児童生徒が暴言を吐かれて傷つくなどの事態に陥りました。このような事態を解消するた

め、5月29日、国や県などに新型インフルエンザ対策に関する要望書を提出しました。

○総合健康ゾーン整備事業

新設する健康増進施設は、5月21日に地鎮祭が行われ、建築工事が始まりました。改修整備する健康福祉施設は、

今期議会に工事の契約締結議案を提出しています。

○豊岡市国民健康保険税条例の一部改正

豊岡市国民健康保険運営協議会から、「平成21年度豊岡市国民健康保険事業運営の基本方針について」の答申を受け、豊岡市国民健康保険税条例の一部改正案を今期議会に提出しています。

賦課総額の決定に当たっては、国民健康保険財政調整基金から2億円の充當を行い、被保険者の負担額が昨年度並みとなるよう措置しました。

また、地方税法の一部改正により介護納付金課税分の限度額を10万円に引き上げます。

○第2次霊園整備事業

今期議会に砂防河川付替工事に係る補正予算を提出しています。埋蔵文化財調査が完了する10月末ごろの工事着手

を考えています。

人と自然が共生するまち

○コウノトリの野生復帰

本年度は、日高町山本と但東町唐川で放鳥が予定されています。

「ハチゴロウの戸島湿地」は、お客様を迎えられる態勢が整いました。

また、コウノトリ基金を活用して、ビオトープ水田の設置を進めています。本年度は八条、中竹野、日高、および小野小学校の4校区でモデル実施し、今後、市内全小学校区へと広げていく予定です。

持続可能な「力」を高めるまち

○山陰海岸ジオパーク

山陰海岸ジオパーク推進協議会において、今月中旬には再度、世界ジオパークネットワークへの加盟申請をする予定です。

市も、同協議会事務局を持つ県に職員を派遣しています。

○兵庫県大型観光交流

キャンペーン

4月1日から始まり、ゴールデンウィーク期間中は、昨年比10パーセント以上の伸びとなりましたが、新型インフ

ルエンザにより、観光入込客は大幅に減少しています。その対策の補正予算を今期議会に追加提出します。

○駅100周年記念事業

7月10日にJR豊岡駅と江原駅が、9月5日には城崎温泉駅が100歳を迎えます。駅の開設100周年をポスト兵庫県大型観光交流キャンペーンの一環と位置付け、商工団体や観光団体などの協力を得て記念事業を行い、今後、点から面への3駅連携を図り、地域活性化につなげます。

○環境共生型モデル住宅(エコハウス)の整備

「21世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」の全国20カ所の対象地域の1つに本市が選定され、ハチゴロウの戸島湿地に、エコハウスを整備します。そのねらいは3つあります。

- ①地球温暖化防止と生物多様性保全を考える総合モデルエリアを創出する。
- ②気候風土に適合した伝統技術と新エネルギー・省エネルギーに関する最新技術の融合を実現する。
- ③環境に関心の高い人が多く

集まる場所に環境共生型モデル住宅を整備し、総合的な環境保全についての意識啓発効果を高める。

○「香港フード・エキスポ2009」への出展

香港で、8月13日から3日間、海外販路開拓の展示会が開催され、兵庫県ブースが設けられます。本市は「コウノトリ育む農法」の米を中心にPRすることとしています。今後は米の輸出促進も検討する必要があります。香港や中国本土市場への販路開拓に向けた調査・研究を行います。

イトーヨーカドーでは、本市の取組みに共感し、関西地方で「コウノトリ育むお米」を販売していましたが、5月から、関東とその周辺の1都9県でも販売を始めました。

○JR豊岡駅前広場整備事業

平成23年度の完成を目指し、4月にJRと土地売買契約および豊岡駅舎移転補償契約を締結しました。また、豊岡駅東駐輪場、駅前公衆トイレは、5月から供用を開始しました。今後、JRにより新駅舎の設計が行われ、年末から駅舎

